

2023年4月6日

## 米ホワイトハウス「ヒートポンプ暖房機の製造・普及に関する円卓会議」に参加

米国における先進的なヒートポンプ技術の普及拡大について政府高官と議論

ダイキングループは、ホワイトハウス（米国・ワシントン D.C.）で4月4日（火）に開催された「ヒートポンプ暖房機の製造・普及に関する円卓会議（主催：ジェニファー・グランホルム 米エネルギー長官）」に、ヒートポンプ暖房機の主要メーカーの1社として招待されました。会議には、当社の米国子会社であるダイキン・コンフォート・テクノロジーズ・ノースアメリカ社 チーフ・セールス & マーケティング・オフィサー（CSMO）の井上隆之と、ダイキン US 社 政府渉外担当 SVP のデビッド・カラブレスが出席しました。

本円卓会議では、ヒートポンプ暖房の普及を促進し、全米で拡大する業務用・住宅用のヒートポンプ需要に対応するために、民間・公共の両部門による投資連携について議論されました。

CSMO の井上は次のようにコメントしています。

「ホワイトハウスとグランホルム長官が、ヒートポンプが気候変動への対応と米国の脱炭素化の目標達成に向けて重要な役割を果たすと認識していることに感謝します。ダイキンの革新的なインバータ技術をヒートポンプに用いることで、従来のヒートポンプのようにガスや電気の熱源を併用することなく、低外気温での運転が可能になることをお伝えできました。本日のディスカッションでは政府と業界のリーダーが集まり、ともに障壁を乗り越え、全米でヒートポンプの導入を加速させるための道筋を描きました。重要なのは、設置にかかる総コストを抑える強力な補助金や、労働力拡大（施工・サービス技術者）および職業訓練への支援強化など、先進的なヒートポンプを米国のすべての人々がより利用しやすくするための機会に焦点を当てたことです。」

当社グループは、米国においてテキサス州でヒートポンプ暖房機を製造しています。その製品ラインアップの中には、省エネに対応し、環境への影響を抑え、最終的にはすべての人が利用できるように設計された、インバータ採用の「FIT」システムも含まれています。今後もこれらの技術開発に取り組み、先進的なヒートポンプ技術の普及拡大に貢献していきます。

【お問い合わせ先】ダイキン工業株式会社 コーポレートコミュニケーション室  
大阪 (06) 6373-4348 / 東京 (03) 6716-0112